

特許流通支援事業(静岡県特許流通支援事業費補助金)セミナー

富士通による新しい知財戦略

～知財活用の在り方を考える～



企業活動において知的財産権の重要性は言うまでもありませんが、これまでの知的財産権に関する取組みは、もっぱら自分たちの事業を守ることを目的に行われていました。しかし、最近ではオープンイノベーションの流れを受け、知財戦略・知財活用の一つとして自社の特許を積極的に開放し、他社に活用して貰う「知財マッチング」の取組みが話題になっています。

「知財マッチング」とはどのようなものか、特許を提供する側、特許を活用する側それぞれにとってのメリットは何か?また、知財マッチングを推進するうえで、どのようなことが必要となるのか?などについて、知財マッチングの事例を交えてご紹介します。

日時

平成30年
2月16日 金 14:00~16:30

会場

アクトシティ浜松 研修交流センター 51研修交流室

対象

中小企業経営者、知財担当者 他

定員

50名

参加費

無料

講師



富士通株式会社
法務・コンプライアンス・知的財産本部
知的財産イノベーション統括部
ビジネス開発部
部長 **広瀬 勇一 氏**

内容

- ① 特許開放に取り組んだ経緯と現状
- ② 特許を提供する側、活用する側のメリット
- ③ 知財マッチングの成功事例
- ④ 今後の展開、見通し
- ⑤ 富士通として目指すもの

主催：



公益財団法人
浜松地域イノベーション推進機構
Hamamatsu Agency for Innovation

講師紹介

富士通株式会社 法務・コンプライアンス・知的財産本部 知的財産イノベーション統括部 ビジネス開発部
部長 広瀬 勇一 氏

富士通グループは、事業戦略および技術戦略と一体的に知財戦略を実施し、経営に資する知的財産を構築しています。

富士通グループが保有している特許の中には、事業戦略の変化に伴い富士通自身では実施しなくなったものや、実施している場合でも他の企業に活用していただいた方が、より高い価値を創造できるものがあります。このような特許に加え、ノウハウも技術シーズとして、積極的にライセンスすることによって、研究開発の成果を広く社会で活用していただく活動をしています。このような知的財産マッチング活動は、国や自治体、金融機関、大学と深く連携し、中小企業における新ビジネスを多数創出しており、地域の活性化にも役立っております。

問い合わせ先

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 事業推進部 企業支援グループ 担当:菊本・石井
TEL/053-489-8111 FAX/053-450-2100 E-mail/search@hai.or.jp

申し込み方法

下記申込書にご記入の上、2月9日(金)までに、
E-mailまたはFAXにてお申込み下さい。

申込書

会 社			
会社名			
所在地	〒		
TEL		FAX	
参 加 者			
氏名			
所属・役職			
E-mail			

※個人情報に関する注意事項

申込書にご記入いただいた個人情報は、主催者の事業等に関する情報や参加者募集の案内等の範囲内で利用または提供いたします。
個人情報は取扱目的以外に利用したり、第三者に提供することはありません。